

所信表明

小諸市長
小泉俊博



私は、4月7日執行の市長選挙において、多くの市民の皆様のご支持をいただき、三度、小諸市政の舵取りの重責を担わせていただくこととなりました。あらためまして、市民の皆様には、厚く御礼を申し上げますとともに、私にお寄せいただきました多くのご期待にお応えするべく、3期目も力の限りを尽くして、誠心誠意、市政経営に邁進してまいります。

◆目指すまちづくりの方針

◆目指すまちづくりの方針
◆目指すまちづくりの方針
◆目指すまちづくりの方針

今、成果として見える形で現れてきているものと考えております。

一方、少子高齢化・人口減少の進行、厳しさを増す地方財政、魅力や特性を生かした地域づくり、脱炭素社会の早期実現、防災・減災による安全・安心のまちづくりなど、地方自治の維持・発展には多くの課題もあります。引き続き、健康都市こもろ「小諸版ウエルネス・シティ」第2章として「あらゆる分野で健康・健全で自己実現できるまち、自分に還る・何度でも帰りたいまち、住みたい・住み続けたいまち」を小諸市のあり方・ビジョンとして掲げ、まちづくりの施策を展開してまいります。

そして、これらを見現化した姿として、こどもから高齢者まで皆が健康で生きがいを持ち、安全・安心で豊かな人生を営み、最後まで自分らしく人生を全うできる地域社会の実現に鋭意取り組んでまいります。

特に、深刻化する人口減少と少子化問題に対処するために「自然増（死亡者数より出生者数が多い状態）への挑戦」として「若者がくらしやすいまちづくり」「子育てが楽しいまちづくり」「ごとも・女性を大切にするまちづくり」は、喫緊の課題として捉え、力を傾注いたします。

基本政策及びその実現のための重点施策について、現在、策定を進めている小諸市総合計画第12次基本計画に合わせた6つの政策の柱にまとめました。詳細は、次頁に記載させていただきます。

“今後も、「選ばれるまち」を目指して”

◆目指すまちづくりの重点政策

◆目指すまちづくりの重点政策
◆目指すまちづくりの重点政策

◆目指すまちづくりの重点政策
◆目指すまちづくりの重点政策

◆目指すまちづくりの重点政策
◆目指すまちづくりの重点政策

◆目指すまちづくりの重点政策
◆目指すまちづくりの重点政策

6つの重点施策

※一部抜粋

1 子育て・教育 心豊かで自立した人が育つまち
○「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である「生きる力」の育成
○市全体で小中一貫教育を推進し、本市の教育が目指す学校づくりを推進
○家庭における子育ての負担等を和らげ、安心して子育てができる環境づくりを社会全体で取り組む体制づくりの確立

2 環境 豊かな自然と環境を未来につなぐまち
○「第3次環境基本計画」「第2次ごみ処理基本計画」に基づき、資源循環型社会を形成しつつ良好な自然環境及び生活環境の維持・保全
○地球温暖化防止、ゼロカーボンの実現へ向け、企業や各種団体と連携協力しながら、市民への情報提供と啓発の促進
○森林税を有効活用し、企業や関係機関・団体の活力を借りながら、森林保全への取り組み

3 健康・福祉 全ての人のいのちが輝くまち
○市民の誰もがいのちを大切に、いのちが大切にされ、こどもから高齢者まで皆が健康で生きがいを持ち、最後まで自分らしく心豊かに人生を全うできるような地域社会の創生
○悩みや困難を抱えた時に助けを求めることができ、一人ひとりの命が大切にされるまちの形成
○医療の適正利用への啓発、救急医療をはじめとする医療資源に対する必要な支援

ウエルネスシティ信州こもろ
市民が健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな人生を営めるまち。小諸市にかかわるすべての人々が「自分に還る。」「何度でも帰りたい。」「住みたい。」「住み続けたい。」「まち

4 産業・交流 稼ぐ力をもった元気なまち
○後継者や担い手不足の解消を目指し、農産物のブランド化と産地規模拡大に向けた取組みの推進
○地域の強みを活かした、積極的な企業誘致に取り組むほか、既存企業・事業者の支援も強化
○新産業団地整備を着実に進め、市内への投資促進はもとより、経済やまちづくりの担い手を誘致・育成

5 生活基盤整備 安全・安心で暮らしやすいまち
○小諸駅前広場の再整備計画の策定を進め、旧小諸本陣一帯の文化・観光交流拠点化を公民協創により推進
○長寿命化修繕計画に基づき、舗装改良及び橋梁・トンネルの修繕を実施
○「自助・共助」の啓発に積極的に取り組み、機能的、機動的な自主防災組織が運営されるよう働きかけ、地域防災力を向上

6 協働・行政経営 市民協働で支える健全な行政経営
○市民や市民団体、企業や大学・高校等と連携の深化
○学校再編整備に伴う跡地活用等を含め、市民サービスに必要な機能の集約化等を進めながら公共施設の総量削減への取組み
○DXの推進により庁内業務の効率化をはかり市民サービスを向上
○ふるさと納税やクラウドファンディングによる自主財源の確保など、歳入を増やすための積極的な取組み

引き続き、ウエルネスシティ信州こもろを推進していきます
ウエルネスシティ信州こもろ
心と身体を癒し、自分に還る「ウエルネスライフ」を実践する場所
※市の総合計画の目標にSDGsを加味

田中 尚公氏が副市長に選任されました
4月臨時議会において、選任の同意をいただき、副市長に就任いたしました。小泉市政3期目がスタートし、「小諸版ウエルネスシティ～第2章」の政策実現や、小諸市として目指すまちづくり方針の実現のために、市民の皆様をはじめ、各団体、企業、関係機関との連携のもと、職員と共に多様化・複雑化する行政課題にも積極的に取り組み、各事業を推進してまいります。市民の皆様にはまちづくりの成果や変化を肌で感じていただき、小諸市に住んでいる満足感や幸福感を持っていただきたいと強く願っています。
小泉市長が目指す「将来にわたり、輝き続けるまちづくり」実現のために、微力ではございますが、市職員としてこれまで培ってきた経験を生かし、理事者の一員として、市長の補佐役として、誠心誠意、全力を尽くします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



よしあき 副市長 田中 尚公

ことなく過ごせ、医療や福祉、産後ケアの充実とともに子どもへの権利が擁護されていること。産前・産後の支援が充実するよう、父親に対しても多角的なアプローチと相談ネットワークなどの横断的な体制があり、男性の家事育児への参画が活発であること。全世代参加の地域づくりと、時代とともに変わる考え方やニーズに対し、継続性のある次世代を見据えた組織づくりを進めることなど、取組みは多岐にわたる上に、非常にハードルが高いものもあると思いますが、これらを積極的に進めることにより、人口の自然増へ果敢に挑戦してまいります。